

# 長畝ふるさと通信

【2016年6月号】

## ■ 42年ぶりの巣立ち



6月1日、野生下で誕生したトキ同士のペアから誕生したヒナの巣立ちが確認されました。昭和49年以来、実に42年ぶりの事だそうです。環境省は2020年までに野生下のトキを220羽定着させるというロードマップを発表しましたが、それよりも早く目標に到達するのではないのでしょうか。田んぼにいれば朝に夕にトキたちの姿が見られるよ

うになり、日常的な光景となりつつあります。「トキたちは腹一杯ごはんを食べているんだろうか・・・」数が増えればそれだけのエサが必要となるわけで、「田んぼ農家」としてはそこが気がかりなんです・・・。

## ■ 何のための生きもの調査か

トキ認証米の生産要件に「年2回の生きもの調査」が必須となっています。何のために生きもの調査をするのでしょうか。①生きものたちが田んぼの安全性を証明してくれる → そこで採れたお米は安心だ ②トキのエサは田んぼの生きものたち、居なくなったら大変だ → 居るかどうか確認しなくては ③佐渡はエコアイランド、生物多様性の島だぞ → 継続調査でみんなに知ってもらおう・・・など受け止め方は千差万別。佐渡はトキのおかげで棲みよい島になったかな？生きものたちに直接聞いているのが「生きもの調査」です。



あまり居て欲しくないウシガエルのオタマジャクシ、畦で卵を産むクサガメ



羽化したてのノシメトンボ



6月18日に実施した生きもの調査の様子 「ほら、カエル、そこ！」とはしゃぐお母さん

## ■ ツバメの巣立ちも実況中継

我が家の長屋に毎年やってくるツバメ。途中で巣作りを断念してしまうことが多いのに、今年のご夫婦はしっかりと営巣し、めでたく5羽のヒナを巣立たせました。実況中継で紹介します。



<6月6日>ヒナ誕生。大きな口を開けてピーピーと元気に鳴きながらエサをおねだりする姿が。

<5月下旬>田植えが終わって一段落、気がつくと立派な巣が出来ていました。いつもは途中で巣が崩れて投げ出してしまうのに、今年は期待できそうです。



<6月18日、生きもの調査から帰宅すると>

巣は空っぽ、近くに幼鳥が2羽、なかなか飛び立てずに躊躇している様子。仲間達が「早くおいで」とばかりにはやし立て、どうにか巣立っていきました。めでたし、めでたし。

<6月16日>たった10日でこんなに大きくなりました。親鳥は毎日懸命にエサを運んでいます。よく見ると羽化したてのトンボがメインディッシュのようです。自然界は厳しいですね。





## ■ 28年産米 順調に生育中！

田植えが終わってひと月あまりが経過しました。朝晩、田んぼへ出かけては苗や水の状況を確認し、現在は「中干し」の最中です。JAからはこまめに「稲作生育速報」が配布され、生産者にリアルタイムな情報提供がされています。「至急、中干しを実施して」「晴れ間を見て溝切りをして下さい」「カメムシのエサを減らすため畦草を刈りましょう」などなど。解っちゃいるけど身体はひとつ！ 頑張るおじさんたちを応援して下さい。

**中干しを継続してください！！**

茎数が前年より116%と急増しています。  
まだ、中干し・溝切りを実施していない場合は、至急実施してください。

1 6月20日現在の生育状況（品種：コシヒカリ 拠点ほ場8ヶ所の平均）

草丈は長く、茎数は多め。  
中干し効果が出てきたほ場では、葉色が回復してきました。

	本年	前年 (前年比・差)	指標値 (指標値比・差)
草丈 (cm)	43	37 (116)	37 (116)
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	478	413 (116)	420 (114)
葉数 (枚)	8.7	9.1 (-0.4)	8.6 (0.1)
葉色 (SPAD)	41.1	40.9 (0.2)	39.0 (2.1)

※ 次回から、葉色板の値も表示します。



## ■ ある朝のモリアオガエル伯爵との会話

「増税やる！」内閣があつという間に「やっぱりやめた」内閣になりましたが・・・

「やりぬく根性がないんでしょうな」

「いったいどこを見て政治ってるんでしょうか」

「自分の政治生命でしょ、それだけでしょ」

7月には大きな国政選挙がありますが、そのたびに翻弄される農業であってほしくないモンで・・・

ニッポンが良くなったか一度生きものたちに聞いてみてもらってはいかがでしょうか

